

第25回都島メディカル・カンファレンス

(Miyakojima Medical Conference)

平成30年2月17日(土) 午後3時から午後5時

会場：大阪市立総合医療センター さくらホール

本会は、医師会と大阪市立総合医療センターが近隣の診療所・病院勤務医師の先生方と、症例検討を中心にカンファレンスを行っています。

このカンファレンスを通じて診療レベルが向上し、相互の親睦も深まり、医療連携が促進されることで患者さんへより良質の医療が提供する一助となることを目的としています。

症 例 「咽頭痛が再燃した伝染性単核球症の一例」

初期急病診療部 高木 春花

「家族性地中海熱（非典型例）の20代女性」

総合診療科 中村 遼太

特別講演「思春期診療を一緒に考える

～小児科医と内科医の境界を越えて～」



小児総合診療科副部長
藤丸 季可

思春期は、心身両面において成長とともに成熟が始まり完成する、小児から成人への重要な橋渡しの時期です。一般に二次性徴がすすむ10歳から20歳までの年齢層を示します。成人期と同様の生活習慣病や慢性疾患がみられるようになる一方で、自我自立の葛藤や成長期特有の疾患も認められ、小児科と内科の「境界」にある思春期診療は、小児科医も内科医も敬遠しがちな「はざま」領域となっています。

今回の講演では、小児科専門医として、また腎臓専門医として経験した思春期症例の問題点などを一緒に考えたいと思います。

【ご挨拶】

今回は移行期医療をテーマに選びました。

思春期は、成人内科と小児科の境界領域で、精神的にも身体的にも大きく変化する時期です。かかりつけ医の先生方は、幼少期から大人になるまで一貫してフォローされておられるので、私共よりよりいっそう問題を感じておられると思います。

特別講演では普段聴くことの出来ない小児科領域からみた移行期の患者さんの対応についてお話いただきます。

当科からは、この時期にしばしば遭遇する発熱についての鑑別を要した症例を提示させていただきます。

参考にしていただき、特別講演と合わせて日常診療に役立てていただければ幸いです。



総合診療科部長
後藤 仁志



初期急病診療部部長
山田 明子

地域医療機関の先生方には、常日頃当院との病診及び病病連携にご高配いただき有難うございます。当科は当院に通院中の患者さんや地域医療機関からの紹介患者さんを中心とした成人内科系疾患の緊急診療に対応しています。スタッフは専門分野の異なる内科系医師で構成され、救急外来での初期対応、各専門診療科へのトリアージ、さらにER 外傷センターへの緊急入院への対応を行っています。

診察依頼につきましては、緊急専用電話（平日8時45分～20時まで対応）を御利用いただければ、当科のスタッフが直接対応させていただきますので今後ともよろしくお願い申し上げます。詳しくは、地域医療連携室 ☎ 06-6929-3643 までお問い合わせ下さい。

申込書、案内図は、裏面をご覧ください。

第25回都島メディカル・カンファレンス（MMC）FAX申込書
大阪市立総合医療センター地域医療連携室
FAX 06-6929-0886

お手数ですが、枠内にご記入の上、FAXにてご送信ください。ご参加いただける方のお名前の記載をお願いします。

なお、誠に勝手ではございますが、**2月10日（土）**までにご返信ください。

参加者氏名	平成 年 月 日
①	職種
②	職種
③	職種
④	職種
施設名	
施設所在地等	TEL FAX

【案内図】



大阪市立総合医療センター 3階 さくらホール
 大阪市都島区都島本通 2-13-22

最寄り駅

- 大阪市営地下鉄（谷町線）都島駅 2番出口から西へ徒歩3分
- JR西日本（大阪環状線）桜ノ宮駅 東出口から北へ徒歩7分

【事務局】

総合診療科 後藤 仁志

初期急病診療部 山田 明子

お問い合わせ：医事課 藤井・藤本

医事課地域医療連携室 ☎ 06-6929-3633